

# 最上川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和6年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 小学生を対象とした、メディアと連携して流域治水や、ダム・砂防堰堤等の役割や効果、必要性の説明を実施(7回、200人)
- 流域市町村の小学校から社会科見学等の機会を利用してダム・砂防堰堤等の役割や効果、必要性を説明(1回、60人)

### 教育活動

- 自主防災組織等からの依頼による防災講話や、県との連携による研修会等(7回、130人)
- 分かりやすい教材等を用いた防災教育(延べ22回1100人)
- 小中学校への防災教育・マイ・タイムラインを活用した出前講座等の開催(20回、840人)

### 訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(山形県内全35市町村)
- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組

### 水防活動の支援

- 水防活動拠点整備(1拠点)

### 水災害対策の支援

- 出水期前に希望する住民への土のうの事前配布(1町)

### 流域治水の広報

- パネル展を開催し、水害・土砂災害に関する啓発活動を実施(9市町村、4回)

### リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害計画区域等の公表(1市)
- 総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップの更新・配布(4市町村)
- 避難場所や経路等に関する情報の周知(気象・防災情報の提供)
- 危機管理型水位計の設置、防災情報カメラの配信(8箇所)
- 緊急速報メールやLアラートを活用して住民へ情報提供
- メディアと連携による洪水・土砂災害情報の提供

### 計画策定

- 防災指針(立地適正化計画)の作成・公表(7市町)
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- かわまちづくりと一体となった堤防整備計画の作成(2町)

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

周知、連携活動中心

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

情報提供、教育活動中心

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組めるよう、個人、企業・団体の行動を誘発して

計画策定や具体行動の支援中心

最上川水系流域治水協議会

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報   地域   個人   企業・団体  </p> <p>◎連携活動   地域   個人  </p>	<p>パネル展で水害・土砂災害を啓発 ● ●</p>	<p>小学生を対象とした、メディアと連携して流域治水や、ダム・砂防堰堤等の役割や効果、必要性の説明</p>	<p>● 小学校の社会科見学等の機会を利用しダム・砂防堰堤等の役割等を説明</p>	
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供   地域   個人   企業・団体  </p> <p>◎教育活動   地域   個人  </p> <p>◎訓練活動   地域   個人  </p>	<p>浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表、洪水・土砂災害ハザードマップの更新、配布等</p> <p>避難場所や経路等に関する情報の周知、メディアと連携による洪水・土砂災害情報等の住民への情報提供</p> <p>危機管理型水位計の設置、防災情報カメラの配信</p> <p>防災講話、研修会 ● ● ●</p> <p>小中学校における防災教育、出前授業</p> <p>住民参加型の避難訓練</p> <p>ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進</p>			
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎計画策定   地域   個人   企業・団体  </p> <p>◎水災害対策の支援   個人  </p> <p>◎水防活動の支援   地域   個人   企業・団体  </p>	<p>防災指針（立地適正化計画）の作成・公表</p> <p>要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</p> <p>かわまちづくりと一体となった堤防整備計画の作成</p> <p>住民への土のうの事前配布</p> <p>水防活動拠点整備</p>			

# 赤川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和6年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

### 連携活動

- 小学生を対象とした、メディアと連携して流域治水や、ダム・砂防堰堤等の役割や効果、必要性の説明を実施(7回、200人)

### 教育活動

- 自主防災組織等からの依頼による防災講話や、県との連携による研修会等(2回、40人)
- 小中学校への防災教育・出前講座等の開催(3回、60人)
- 高専での出前講座の開催(1回、40人)

### 訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(3市町)
- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組

### 水防活動の支援

- 重要水防箇所の合同巡視による危険箇所の周知

### 流域治水の広報

- 事務所広報掲示板にて水害・土砂災害に関する啓発活動を実施
- マラソン大会等イベントにおいてパネル展を実施(1回)

### リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の周知
- 避難場所や経路等に関する情報の周知(気象・防災情報の提供)
- 緊急速報メールやLアラートを活用して住民へ情報提供
- メディアと連携による洪水・土砂災害情報の提供

### 計画策定

- 防災指針(立地適正化計画)の作成・公表(3市町)
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

周知、連携活動中心

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

情報提供、教育活動中心

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組めるよう、個人、企業・団体の行動を誘発して

計画策定や具体行動の支援中心

赤川水系流域治水協議会

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>① 知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報   地域   個人   企業・団体  </p> <p>◎連携活動   地域   個人  </p>		<p>事務所広報掲示板にて水害・土砂災害に関する啓発活動</p>	<p>マラソン大会等イベントにおけるパネル展の実施</p>	
<p>② 自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供   地域   個人   企業・団体  </p> <p>◎教育活動   地域   個人  </p> <p>◎訓練活動   地域   個人  </p>	<p>浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の周知</p>	<p>小学生を対象とした、メディアと連携して流域治水や、ダム・砂防堰堤等の役割や効果、必要性の説明</p> <p>防災講話、研修会 ●</p>	<p>避難場所や経路等に関する情報の周知、メディアと連携による洪水・土砂災害情報等の住民への情報提供</p> <p>●</p>	<p>● 高専での出前講座</p>
<p>③ 行動を誘発する</p> <p>◎計画策定   地域   個人   企業・団体  </p> <p>◎水防活動の支援   地域  </p>		<p>小中学校における防災教育、出前授業</p> <p>住民参加型の避難訓練</p> <p>重要水防箇所の合同巡視による危険箇所の周知</p>	<p>ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進</p> <p>防災指針（立地適正化計画）の作成・公表</p> <p>要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</p>	